

第2回大和川流域委員会 議事概要

開催日時：平成16年8月25日(水)15:00～17:50

場 所：奈良県新公会堂 会議室1・2

委員出席数：出席15名、欠席2名

1. 議事

(1) 第1回大和川流域委員会審議報告

第1回大和川流域委員会議事概要案について報告された。

(2) 流域委員会議事録の様式について

(a) 議事録の様式について審議された結果、議事録案(その1)のスタイルで作成することで了承された。ただし、発言者及び一般の方が希望すれば議事内容を音声でも確認できることとされた。

(b) 議事概要案については、様式は案のとおりとし、一週間以内に委員全員に議事概要を送付し、内容の確認をとった上で公開を行う。

(3) 流域委員会のスケジュールについて

今後の流域委員会のスケジュールについて審議され、スケジュール案が了承された。

(4) 大和川の現状説明「特徴・歴史」

河川管理者から現状説明が行われた。

(5) 委員からの情報提供

(a) 荻野委員：「大和川の付け替えの歴史について」

(b) 仲川委員：「地域の特徴と歴史について」

(6) 大和川の「特徴・歴史」について意見交換

(a) 河川整備計画の中で治水・利水あるいは環境にのみ議論の重点が移行する傾向と危惧を察したが、歴史の専門委員として参加しているものの発言に十分な時間が欲しい。そのためにも委員会の運営に積極的な工夫をしていただきたい。

(b) 新大和川の破堤、洪水の歴史、そのときの土木工事の対応等について情報があれば教えて欲しい。

(c) 今後の大和川の治水を考える上で、土砂移動、河床の変化は重要であるため、その状況を教えて欲しい。

(d) 治水・利水・歴史について箱物ではなくて現地で体験できるような大和川流域全体の河川公園構想を提案したい。

2. 現地視察会について

委員へのアンケート結果による視察ポイントを盛り込んだ河川管理者からの視察提案ルートで了承された。

現地視察会は9月28日です承された。

また、水質が特に悪いポイントを視察するべきと委員から提案があった。

3. その他

一般傍聴者から、第1回流域委員会における一般傍聴者からの意見内容について再度確認をして欲しいとの意見があり、庶務で対応することになった。

以上